

芸能文化の振興に関する研究

芸能による豊かな社会づくりのために  
—提言と具体化への道筋—

Part I

第一部 芸能が豊かな社会をつくるという理念の実現にむけて

第二部 人々が芸能にふれる場を創出するために  
—「劇場」、「アーツセンター」として文化拠点が全国で活用されるようにしよう

第三部 芸能組織が豊かな活動を展開するために  
— 自らの使命を確認し、行動へ

※第四部 芸能の専門家が自らの能力を高め、人々と芸能との出会いの場をつくり出すために—今、必要なことは、Part IIとして、別冊に収録されている。



## 目次

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 第一部 「芸能が豊かな社会をつくる」という理念の実現にむけて.....   | 1  |
| 1. はじめに .....                         | 1  |
| 2. 社会経済の変動のただ中で、芸能の新たな役割を模索する .....   | 1  |
| 3. 提言のまとめに際して.....                    | 2  |
| 第二部 人々が芸能にふれられる場を創出するために .....        | 9  |
| 1. はじめに .....                         | 9  |
| 2. 「劇場」の地域における役割 .....                | 9  |
| 2. 1. 「劇場」に求められる今日的課題 .....           | 9  |
| 2. 2. 新しい価値を生み出す装置として .....           | 11 |
| 2. 3. 「劇場」の地域における役割：類型化の試み .....      | 12 |
| A 創造型劇場.....                          | 12 |
| B 提供型劇場.....                          | 13 |
| C コミュニティ・アーツ・センター .....               | 14 |
| D 集会施設 .....                          | 14 |
| 3. 国と地域の文化政策と「劇場」 .....               | 15 |
| 3. 1. 国が劇場拠点整備を行うことの必要性 .....         | 15 |
| (1) 地域が劇場設置と維持・運営に責任をもつことの必要性 .....   | 15 |
| (2) 指定管理者制度の導入に際して .....              | 16 |
| 3. 2. 芸術家や芸能団体等が提起する「劇場」活用のビジョン ..... | 17 |
| 4. 芸団協からの提案および課題の提起～具体化への道筋 .....     | 19 |
| 4. 1. 「劇場」活性化の中長期ビジョン .....           | 19 |
| 4. 2. 「劇場」を運営する組織・事業体について .....       | 20 |
| 4. 3. 「公共劇場」をより理解しやすくするために .....      | 20 |
| 4. 4. まとめ .....                       | 22 |
| 5. <参考>芸団協のこれまでの「劇場研究」の経緯とその要約.....   | 24 |
| 5. 1. 「芸術文化機関」の提起 .....               | 24 |
| 5. 2. 文化芸術振興基本法成立後一劇場事業法（仮称）の提起 ..... | 24 |
| 5. 3 劇場活性化プロジェクト第二次の検討 .....          | 24 |
| 5. 4 劇場活性化プロジェクト第三次の検討 .....          | 26 |
| 第三部 芸能組織が豊かな活動を展開するために .....          | 27 |
| 1. 芸能組織の理念、ビジョンを見直す.....              | 27 |
| 1. 1. 芸能団体の成り立ち .....                 | 27 |

|                                                        |    |
|--------------------------------------------------------|----|
| 1. 2. 芸能団体の理念と目的の見直し .....                             | 28 |
| 1. 3. 基盤整備団体の多様な役割は.....                               | 29 |
| 1. 4. 環境変化のなか、芸能団体、基盤整備団体の方向性 .....                    | 30 |
| 1. 5. 芸能組織の経営力の向上 .....                                | 30 |
| 2. 人々が地域で多彩で、深く芸能を楽しむ環境をつくるための支援システム .....             | 31 |
| 2. 1. 芸能組織の活動と支援.....                                  | 31 |
| 2. 2. 芸能組織の全国俯瞰 .....                                  | 32 |
| 2. 3. 最後に .....                                        | 34 |
| <br>＜資料編＞ .....                                        | 37 |
| 文化庁、文化審議会文化政策部会への意見書 .....                             | 37 |
| 1) 新世紀アーツプラン芸術団体重点支援事業の見直しを .....                      | 38 |
| ①支援目的をもっと明確に .....                                     | 38 |
| ③目的に沿った評価ポイントと指標の明確化.....                              | 38 |
| ④芸術団体の自己評価システム確立と成果・情報の公開 .....                        | 39 |
| 2) 基盤形成支援の考え方の確立.....                                  | 39 |
| 3) 支援のポジショニングの必要性 .....                                | 40 |
| 4) 現状支援制度の見直しと新たな制度形成のための研究実施を.....                    | 40 |
| ①短期的課題としてー芸術団体の資金繰り改善と採択の早期化を .....                    | 40 |
| ②短中期的課題としてー支援・評価制度再構築のための調査研究を .....                   | 41 |
| ③中長期的課題としてー抜本的な支援制度改革に向けて研究を.....                      | 41 |
| ＜参考資料＞ 支援制度に関するアンケート結果報告 (2003. 11) .....              | 44 |
| <br>プロジェクト構成 .....                                     | 55 |
| 参考研究一覧 .....                                           | 59 |
| <br>Part II (別冊に収録)                                    |    |
| 第四部 芸能の専門家が自らの能力を高め、<br>人々と芸能との出会いの場をつくり出すためにー今、必要なこと」 |    |
| 1. 実演家等のキャリアアップに求められていることーグループインタビュー調査                 |    |
| 2. 芸能関係専門家の研修基盤の現状と問題点                                 |    |
| 3. 芸能関係専門家のキャリア形成と芸団協の取り組みの方向性                         |    |
| 4. 芸能実演家等のキャリア形成のための論考                                 |    |